

朝の一斉登校指導(マナーアップ)のお知らせ

6月のマナーアップ運動は、荒天のため残念ながら中止となってしまいました。次回予定されている11月19日(水)は、生徒たちの登校時の安全を見守るためにも、是非実施したいと考えています。 <PTA生活委員会>



PTA会長挨拶

関東地区高等学校
PTA連合大会(埼玉大会)に参加して



PTA会長 3年5組 山田 久美子

令和7年7月11日～12日の二日間、第71回関東地区高等学校PTA連合大会(埼玉大会)に武藤校長先生と参加しました。第71回埼玉大会はスローガン・メインテーマ「対話を通し明日を拓くPTA」のもと、1日目は分科会、2日目には全体会が行われました。

私が参加した第3分科会では山梨県立甲府西高等学校の提案発表「社会の中で自分らしく生きられる生徒の育成に向けて」・神奈川県立大磯高等学校の提案発表「HUB a Good Time～産官学民をつなぐ青春応援隊!～」この2校のPTA活動の取り組みを聞きました。

どちらの発表も共通していると感じたことは学校・家庭・地域が連携し、よりよい教育活動につながるよう取り組んでいるということ。子供たちに関わるPTA活動をやらされているのではなくやりたい活動にしているということが素晴らしいと思いました。

今回のメインテーマに「対話」とありますが、対話とは対等な立場で向き合って話すことです。互いの立場や意見の違いを尊重しあうためには多くの人と関わり経験を積んでいくことも大切だと感じます。PTA活動にはこの「対話的な学び」を深め広げていける可能性を感じています。今回の大会に参加し関東でのPTA活動事例発表などを聞き巨摩高校で活かせること、巨摩高校だからこそできることを学校・家庭・地域の皆さんと協力し考え行動していきたいです。

引き続き巨摩高生のより良い教育活動につながるよう一体となり取り組み、健やかな成長を支えていけるよう保護者の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

編集後記

この度巨摩高PTAだよりvol.11を多くの皆様のご協力のもと発行する運びとなりました。心より感謝申し上げます。

今年の夏は例年にも増して厳しい暑さとなりましたが、保護者の皆様には部活動の応援や白嶺祭へのご参加など、さまざまな場面でご協力いただきました。その様子を写真に収める中で、保護者の皆様がまるで学生時代に戻ったかのように、生徒たちと一緒に楽しんでいる姿がとても印象的でした。そして、温かい応援の声は生徒たちにとってこれからの高校生活への大きな励みとなったと思います。

最後に取材や写真撮影にご協力いただいた皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

今後ともPTA活動へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

広報委員会副委員長 2年5組 西田 哲也

校長挨拶

支え合う力が、
子どもたちの未来を拓く



校長 武藤 一輝

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本校では、校訓「進修実践」の精神のもと、「高い志と挑戦する気概を持ち、主体的に行動できる生徒の育成」を教育目標に掲げています。社会が急速に変化し、生成AIの登場やグローバル化の進展により、未来を予測することが難しい「VUCAの時代」に突入しています。こうした時代に必要なのは、知識を覚える力以上に、自ら問いを立て、考え、行動する力です。加えて、変化に柔軟に対応し、他者と協働しながら課題を解決する力も、ますます重要になっています。

その力を育むため、本校では「探究学習」に力を入れています。1年次より「よのなか科」や「総合的な探究の時間」を通じて、社会のしくみや身近な課題を題材に、自分なりの問いを立てて深く考える学びを進めています。後半からは地域企業と連携したプロジェクトに挑戦し、実社会に触れながら、仲間とともに答えのない問いに向き合う経験を重ねています。こうした学びは、生徒たちが自分の考えを言葉にし、他者と協働する力を育む貴重な機会となっています。

このような教育活動は、保護者の皆様の支えがあってこそ成り立っています。今年度のPTA活動では、生活委員会による一斉登校指導(6月は雨天中止、11月に実施予定)で、生徒の登校時の交通安全を見守っていただいております。白嶺祭では、イベント支援委員の皆様が屋台やキッチンカーを出店し、焼きそばやフランクフルト、シャカシャカポテなどを調理・販売してくださり、学校と地域のつながりを深める機会となりました。また、広報委員の皆様には、PTA活動や学校行事の記録写真の撮影、「巨摩高PTAだより」の制作などにご尽力いただいております。

これからも、保護者の皆様とともに、未来を生き抜く力を育む教育を進めてまいります。子どもたちの可能性は無限です。その可能性を信じ、共に支え合いながら、より良い教育環境を築いていきたいと願っております。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

巨摩高PTAだより

KOMAstyle FOR PARENTS VOL.11

●発行 山梨県立巨摩高等学校
〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2
TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
●発行日 令和7年10月17日 ●編集 巨摩高校PTA広報委員会

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!

巨摩高校 検索

URL...<http://www.ko.kai.ed.jp/>
E-mail...info@ko.kai.ed.jp



この印刷物は再生可能電力
(CO2排出ゼロ電力)で印刷されて
います。

News and Magazine of KOMA High School

KOMAstyle 2025. FOR PARENTS VOL.11

巨摩高PTAだより

楽しみながら学ぶ、それが『巨摩スタイル』。

子どもたちの高校生活を後押しする
巨摩高のPTA活動を紹介します



せっかくのPTA活動
わたしたち
どうせなら保護者も
全力で楽しまなきゃ!!

ホッケー部応援

学園祭キッチンカー

野球応援

特集... Special edition

- 白嶺祭・PTA模擬店にキッチンカー登場
- 学園祭の広報活動&夏の高校野球応援

- PTA会長あいさつ 関東高P連大会参加報告
- 校長あいさつ

白嶺祭にキッチンカーが登場!!

白嶺祭の2日目、PTAイベント支援委員会では、「焼きそば」と「フランクフルト」、「シャカシャカポテト」と「スカッシュジュース」を販売し、売上総利益 97,115円を生徒会に寄付しました。



PTA模擬店は今年も大盛況!!

「かけがえのない経験」

イベント支援委員会委員長 3年2組 三浦 保行

本年度の白嶺祭は天候に恵まれ、平日開催にもかかわらず多くの方々にご来校いただきました。PTAイベント支援委員会では、昨年同様、焼きそば・フランクフルトに加え、地元のキッチンカーと提携してフレーバーを選べるシャカシャカポテトとゆずスカッシュ・ぶどうスカッシュ・ももスカッシュを販売しました。毎年販売している「こまねきねこパン」の販売を今年は生徒会に受け持っていただいたこともあり、新メニューに挑戦することができました。イベント支援委員のみなさんとは打ち合わせから事前準備、当日の調理・販売を協力して行いました。委員のみなさんが積極的に行動してくださったおかげで、スムーズに活動することができたと思います。

白嶺祭当日は時間通りに準備を進めることができ、販売が始まってからは行列ができるほど盛況で、広報委員会の方々にも販売のお手伝いをいただきました。キッ

チンカーでの販売は新たな試みでしたが、子供たちへ事前に周知していたこともあり、たくさん買いに来てくれて無事に売完することができました。活動の最中に保護者の方から「本来のイベント支援委員会の活動に戻りましたね」と声をかけていただき、長いコロナ禍のトンネルをやっと抜けたことを実感し胸が熱くなりました。今回イベント支援委員のみなさんと一緒に一つのものを作り上げたことは何にも代え難い経験となり、達成感を感じています。

最後に、出店にご協力いただいた熊王先生をはじめとした先生方、イベント支援委員会のみなさん、販売を手伝っていただいた広報委員会の方々、そして商品を買って来てくれた子供たち、保護者の皆様に心より御礼申し上げます。



学園祭の広報活動

「令和7年度の広報活動を振り返って」

広報委員会委員長 3年5組 石川 直義

今年の白嶺祭は平日開催となりましたが、多くの保護者の方や卒業生の皆さんにご来校いただきました。定時制による屋台の出店やPTAのキッチンカー販売なども増え、益々活気づいたものになりました。クラスパフォーマンスにおいては、割れんばかりの歓声の中、皆さん楽しそうに演じていて、たくさん練習してきたであろうことが窺えました。ダンスに使われていた曲はどれも一度は聴いたことがある親しみのある曲で、自然とリズムに乗ってしまうほど引き込まれてしまいました。もちろん出演していた生徒さんも素晴らしいのですが、撮影や照明、音響など裏方で頑張っている生徒さんの活躍にも心を打たれた次第です。

また、文化局による作品の展示などを拝見しましたが、どの作品も個性的で味があり素晴らしいものばかりでした。自然科学部では液体窒素を使ったデモンストレーションを見せていただきましたが、生き生きとした表情で説明してくれた姿が印象的でした。まさに今年のテーマ「桜梅桃李」の通り、生徒の皆さんが各々のステージで輝いていたと思います。その様子を見て私自身も本当に大きな力をもらうことが出来ました。

PTAイベント支援委員会では昨年に引き続き焼きそばやフランクフルトの調理、販売を行いました。昨年よりも数量を増やしたことで、フライパンやホットプレートを掛け持ちするなどてんてこ舞いの忙しさでしたが、それでもイベント支援の方々はどこか楽しそうに見えました。

今回広報委員として白嶺祭に参加して、生徒の皆さんと触れ合いながら楽しい時間を共有できたことはとても貴重な経験となりました。これからも生徒さんの輝く姿や高校生活の状況など本誌を通じて伝えていけるよう努めてまいります。

最後に、本校のPTA活動にご尽力いただきました先生方、各専門委員の皆様、そして日頃から活動に関してご理解ご協力をいただいております皆様に心より感謝申し上げます。



夏の高校野球応援



「全力プレー」

野球部保護者会会長 3年1組 小沢 友徳

7月12日(土)に3年生最後の選手権大会がありました。朝から緊張した表情で準備をしている子どもたちの姿を見て、胸が熱くなりました。会場に到着すると、多くの先生方や生徒の皆さん、保護者の方々が応援に駆けつけてくれて、皆さんの期待と応援の気持ちが伝わってきました。

試合が始まると、選手たちは一生懸命にプレーし、全力を尽くしている姿に感動しました。特に、打席・守備での集中力や、仲間と声を掛け合う姿は、成長を感じさせるものでした。結果はどれあれ、選手たちがこれまで努力してきたこと、仲間とともに戦った経験は一生の宝物です。結果は6回10対0のスコアで負けてしまいましたが、選手たちは全力を出し切ったと思います。

また、コンクールと重なったため、吹奏楽部の応援はありませんでしたが、生徒会や応援委員会を中心として集まってくれた生徒の皆さんの応援が凄く、選手たちのプレーを後押ししてくれたと思います。本当にありがとうございました。

これからも、彼らの未来を応援し続けたいと思います。最後まで全力で戦った選手たちに、心から拍手を送りたいです。

